

朝晩は気温が低く、暖房が必要な季節になってきましたね。通いの場では、日中気温が上がると外へ散歩に出かけることもありますので、羽織るものをお持ちになるなどしてお越しく下さい。
※インフルエンザ予防接種の時期となりました。通いや泊まりの場には様々な方が来られますので、重症化を予防するためにも、できるだけ接種されることをお勧めします。なお接種後は、連絡帳にてお知らせください。

いきいき

NO.76 令和4年11月 **だより**

あわら複合ケアサービス
TEL:0776-77-2282
直通:080-4361-4507
住所:あわら市二面2丁目 302 番地
ホームページ:www.naruza.jp/

えちぜん鉄道大関駅近くのコスモス畑に散策に行きました♪

お天気も良く、いい気分転換になりました!!



～トピックス～

新型コロナウイルスは夏以降、減少傾向が続き、水際対策が緩和され、全国旅行支援も始まりました。この中で懸念されているのが、これから冬にかけて新型コロナとインフルエンザが同時に流行する可能性です。

なぜ ことは同時流行のおそれ？

●水際対策などの緩和 ●インフルエンザの免疫のある人が少ない ●南半球のオーストラリアで流行

コロナとインフル同時流行 どのような事態か？

新型コロナ第7波では、発熱外来を設置している医療機関に患者が殺到し、医療機関や保健所にも連絡がつかないケースが相次ぎました。また、確保した病床の使用率が上がり、多くの地域で入院が難しくなったほか、重症化リスクのある人でも救急搬送が難しい状況になりました。新型コロナもインフルエンザも発熱やせきなどの症状は似ています。発熱を訴える患者が、診断を求めて医療機関の外来に殺到し、ひっ迫する事態が想定されます。

とるべき感染対策は変わらない

新型コロナもインフルエンザも呼吸器の感染症で感染経路は似ていて、とるべき対策は大きく変わりません。同時流行した場合の感染の規模を小さくする意味でも、基本的な対策を続けることが大切です。

▽発熱などの症状がある場合は学校や仕事には行かず、他の人との接触を極力避ける。休養が重要。

▽手指の消毒。屋内で人と近い距離で会話する場面などではマスクを着用する。換気を徹底する。

▽新型コロナ、インフルエンザのワクチンを接種する。感染をある程度防ぐほか、重症化を防ぐ効果が高い。

12月の壁飾りづくりの様子です。
ポインセチアの花を作っていただいています😊



体操の様子です。
適度な運動で免疫力をアップさせましょう！



指先のリハビリや、キーホルダー作り
に取り組まれています！(^^)



令和4年度第4回運営推進会議の報告(10/19開催)

- 平均年齢:82歳 ●平均要介護度:3.0
- 通い利用平均日数:3.3日/週 ●泊まり利用平均日数:0.3日/週 ●訪問利用平均回数:1.7回/週
- 訪問看護を利用されている利用者:100% ●苦情報告、身体拘束…なし
- ヒヤリハット・事故報告…1件

【内容】寝たきりの男性。日中も夜間も興奮するとベッド上で手足をよく動かし、ベッド柵に足を乗せたりすることもある。泊まりを利用した翌朝に膝や足首に発赤、擦り傷ができていたのを確認する。傷は小さくなく、数日で治癒する。

【原因】手足を動かしている時に、ベッド柵にぶついたり擦ったりして傷ができたと思われる。精神を落ち着かせる頓用薬も処方されているが、飲んでも状態が変わらないこともある。

【対策】環境整備として、ベッド柵を緩衝材で覆う。

【委員の方から】Q.自宅ではどうなのか？ A.自宅でも同じような状態です。動くこと自体は活動として良いことなので、動きを制限するのではなく周りの環境を整え、安全になるよう支援しています。

★あわら複合ケアサービスの精神★

理念
目標

私たちはいつもあなたのそばにいます

- ① 自宅での介護を希望されるご家族様を応援します
- ② 日常生活でできる活動を通して筋力低下を防ぎ、脳の活性化を図ります
- ③ 地域に密着したサービスを提供します

